

# メディカルナノコートスプレーの使い方

## ①コーティングの準備

### まずコーティングしたいものの表面の汚れを落とします。

油分や汚れが残っているとコーティングがきちんと定着しません。

きれいな布で水拭きして、水分がかわいたら OK です。

水拭きで汚れが落ちない場合は中性洗剤などで落としてから、水拭きしてください。

その際洗剤が表面に残らないようにしてください。

## ②スプレーコーティングのしかた

スプレーする際は、換気の良い場所で風上から対象物と 30 cm くらい離してスプレーしてください。

スプレーの角度は 45° 以上傾けずにご使用ください。スプレー缶は振らないで使用してください。

振ってしまうと窒素ガスが抜ける原因となります。

布地などでは目立たない部分に軽くスプレーして乾かし、仕上がりを確認してから全体にスプレーしてください。



吹きかける量は表面が軽くしめる程度で大丈夫です。

硬い表面に、いっぺんにかけすぎると液だれができて跡がのこる場合がありますので、たくさんかけた場合は何回かに分けてスプレーしてください。

また、かけすぎて液だれした場合はきれいな布ですぐに拭き取ってから、再度軽くスプレーしてください。

## ③乾燥

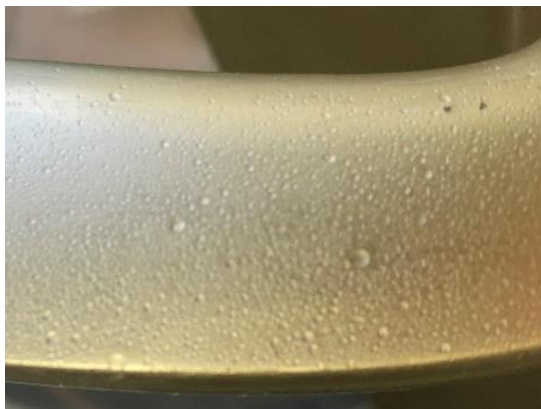
スプレーした後は触らずに十分に乾かすことが、コーティングする上での一番のポイントとなります。通常 30 分から 1 時間程度で表面が乾燥しますので、表面が乾燥したら触ることができます。ただしコーティングした面を拭き掃除するのはスプレーしてから 24 時間後に行ってください。

#### ④水滴の跡が残ってしまった場合にきれいに仕上げる方法

通常はスプレーの跡はほぼ見えない仕上がりになりますが、表面がツルツルしたステンレス素材の場合などでは、稀に水滴の跡が残ることがあります。

大きな水滴がついてしまった場合は、触らずに表面を完全に乾かしてください。

その後きれいな布で乾拭きして、水滴の跡が取れないことを確認したら、再度軽くスプレーして、表面を乾いた清潔な布（マイクロファイバーなど）で塗り伸ばします。これで乾くと表面の水滴跡が消え滑らかに仕上がります。



完全に乾かした後、大きな水滴跡が残り、なおかつ、それを布で拭くととれてしまう場合はコーティングが定着しづらい素材です。特に表面がツルツルして水を強くはじく素材は定着しづらいものが多いです。

例) 鏡面仕上げのクロームメッキ、撥水性の強いプラスチック、表面がツルツルの磁器など

その場合は通常よりスプレーする頻度を多くしてください。

#### ⑤コーティング後のお手入れ

効果をより長持ちさせるために、コーティング表面のお手入れは清潔な布で乾拭き、または、水拭きしてください。特に汚れている場合は、中性洗剤の使用をお勧めします。

また、消毒用アルコールでコーティング表面を拭いても問題ありません。

下記の掃除方法は避けてください。もし行った場合は再度スプレーしてください。

- ・強アルカリの薬剤、洗剤の使用は避けてください。
- ・ハイターの原液、カビ用洗剤、その他漂白剤の使用は避けてください。
- ・表面を削るもの、スチールウールや研磨剤入りの洗剤などは避けてください。

## 【メディカルナノコートスプレー缶・効果持続の目安】

- ドアノブやボタン類などの摩擦頻度の高い箇所やウレタン、プラスチックなどの柔らかい素材  
……1カ月から3ヶ月を目安に再度スプレー
- 洗わない布製品や壁など摩擦頻度が低い箇所  
……6ヶ月から1年を目安に再度スプレー

## 【コーティングに不向きな素材】

- 革製品、ガラス製品、鏡は風合いが変わってしまう場合がありますので使用を避けてください。
- 銀、銅、真鍮など変色を起こしやすい金属への使用は避けてください。
- 紙製品は水分で破れたり、水染みが残る場合があるため使用を避けてください。
- 水分を嫌う精密機器や美術品への使用は避けてください。
- 水性染料を使用した布製品にスプレーすると水分で色が溶け出す場合があるので、必ず目立たない部分で試してからご使用ください。

### お問い合わせ窓口

ナスクナノテクノロジー株式会社

TEL：03-6455-4443

E-mail:medi@medi-coat.com

東京都港区赤坂 4-9-25 新東洋赤坂ビル4F